

鎌倉佛教

浄土宗 (2)

浄土宗の教え

法然の「選択本願念佛集」によるとそれはさまざま
なは、わらわを捨てすべのものを穿しく救いとうと
する佛の慈悲を信じてただひたすらに「南無
阿弥陀佛」を称えよという教えなのです

選択とは、まづオ一の難い修行をし迷いを断じて
悟りを得るとする「聖道門」に対し

阿弥陀佛の本願に誓われた念佛を称えることに
よって極楽浄土に往生し輪廻生死から抜
けるといふ「浄土門」この二つの道を分けたうえ
で浄土門を選択したという事です

その上で「浄土三部経」を(1)読誦すること(2)阿弥陀
佛と極楽浄土を観察すること(3)阿弥陀佛を
礼拝(4)そして称名(5)讚嘆供養するといふ
正行(雑行に対し)を選択するこの五つ正行の
中から「称名」を選択ひとり「正定業」として専ら
実践する正定業とは阿弥陀佛の名号を称え
ることつまり称名念佛なのですこれを行えば
必ず極楽浄土に往生できるといふ教えなのです

次回も浄土宗について述べます

仁河

鎌倉佛教 浄土宗 (2)

浄土宗の教え

法然の「せんちやく選択本願念佛集」によると、それは、さまざまなはからいを捨てすべてを等しく救いとうとする佛の慈悲を信じて、ただひたすらに「南無阿弥陀佛」を称えよ、という教えなのです。

選択とは、まず、第一の難しい修行をし、迷いを断じて悟りを得るとする「聖道門」に対し、阿弥陀佛の本願に誓わされた念仏を称えることによって、極楽浄土に往生し輪廻生死から抜けるという「浄土門」この二つの道を分けたうえで浄土門を選択したということです。

その上で、「浄土三部経」を (1) 読誦すること (2) 阿弥陀佛と極楽浄土を観察すること (3) 阿弥陀佛と礼拝 (4) そして称名 (5) 讚嘆供養するという正行（雑業に対し）を選択する、この五つの正行の中から「称名」を選び取り「正定業」として専ら実践する。正定業とは、阿弥陀佛の名号を称えること、つまり、称号念佛なのです。これを行えば必ず極楽浄土に往生できるという教えなのです。

次回も浄土宗について述べます。